

第3期宮前区区民会議 第5回活力づくり部会

～ 地域特性をコミュニティづくりに活かそう ～

日時：平成23年3月2日(金)18:00～20:00

場所：宮前区役所 第2会議室

次 第

- 1 前回の振り返り
- 2 コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり
- 3 区民会議フォーラム
- 4 その他
 - ・次回部会日程
 - ・第2回ZAMA坂道マラソン

【配布資料】

- 資料1 第4回活力づくり部会 摘録(案)
- 資料2 コミュニティづくりに向けた合意事項
- 資料3 目黒区「坂道ウォーキングのススメ」についてのアンケート
- 資料4 区民会議フォーラムについて

参 考 坂道ウォーキングについての各種資料

第 3 期宮前区区民会議 第 4 回 活力づくり部会 摘録 (案)

日 時 平成 23 年 1 月 21 (金) 18 : 00 ~ 20 : 00

場 所 宮前区役所 4 階会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、佐藤部会長、田邊委員、谷山委員、
豊島委員、手塚委員、藤田委員

事務局 岩佐企画課長、白石職員、鈴木職員
阿部 (コンサルタント)

1 前回のふりかえり

※ 前回のふりかえりとして、各委員が資料 1 の内容を確認。

2 専門部会の流れ (スケジュールイメージ)

※ 事務局より資料 2 を説明。

3 コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

1) 部会のメインテーマの決定

藤田 坂道しかないと思う。

直本 階段、神社仏閣、古墳、河川敷などあるが、それだけではメインテーマとして少し弱い気がする。メインテーマは坂道ではないか。ただ坂道と併せて、公園、神社仏閣、古墳などを組み込むのはいいと思う。

佐藤 坂道を軸として、それに + α というテーマとしていくことでよいか。

→ 坂道をメインテーマとし、その他様々な資源等を組み合わせることです承された。

2) 部会で検討する内容の確認

※ 事務局より資料 4 (議論のベース、住民意識の変え方) を説明。

3) 坂道を活用したアイデア

※ 事務局より資料 4 (これまでの意見、坂道を活用したアイデア) を説明。

佐藤 坂道はどうしても健康づくりに目が向いてしまう。しかし、健康づくりだけでは行政が考えるようなテーマになってしまうので、区民会議の特徴を活かしていかれたらと思う。

谷山 宮前区の商店街連合会に参加している商店街は区内の 1/3 程度。商店街がひとつになっていくためには、坂道を活かしたイベントなどと絡めて、何かできるといい。業界の起爆剤になってほしい。

地蔵は人間の手に近い救いの手をもつ仏像であり、それと坂道がつながるとよい。何のための地蔵なのか、御利益など情報発信ができるとよい。宮前区ならではの地蔵があると思うし、お寺はいろんな仏像もある。

川崎市の他の区は、坂に名前がついているところが多い。宮前区は何があるかと確認しても、あんまりそういう名前を聞かない。昔名前がついていても、今はないことがあ

第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録(案)

るので、そういうところをもっと折り起こせるとよい。既存のマップも100%ではないので、宮前区の区民ならではの探求ができるのではないかな。

商店街でホームページを立ち上げているところがあるが、商店街自体がそれを活用していない。鷺沼商店会はちゃんとマップをつくって、クーポン券を発行している。全部の商店街でやっているかというところではない。何かポイント制をつくるにしても、有馬の商店街に行ってもなかったと言われると困る。宮前区全体の商店街が活動するということにしていけないといい結果は出ない。

山下 目黒区の坂道ウォーキングは「いいことは道具いらず、場所いらず」とし、簡単に取り組めることをPRしている。東海大宇佐美教授がコメントしているのは非常に良い例。コースは7コース設定している。坂道のデータとして、高さや長さについて掲載しているが、それにカロリーが付けばいいと思う。歴史や坂道のいわれなど魅力づくりにも関係してくるのではないかな。

目黒区の坂道は33で、宮前区は名前がついている坂道が38ある。大きな坂道で名前がついていないのは、市役所、土橋から鷺沼にぬける坂にも名前はない。もっと広く取り上げることはできる。以前のマップでも坂道が取り上げられているので、そういったものが土台になるのではないかな。

佐藤 オリジナルのマップをつくってきた。坂の名前があるところに赤のシールを、公園体操をやっているところに青のシール、直売所があるところ(佐藤さんが知っている範囲)に緑のシールを貼ってみた。また、宮前区ガイドブックに載っているコースを色を変えて落してみた。ちょうど菅生にコースがなかった。

手塚 目黒は7コース設定されているが、この部会で新しくコースをつくるのか。

佐藤 それをこれからどうするか決めていくことになる。イメージ的にはいろんなマップがあり、宮前区ガイドブックには10コースもある。

区 地域振興課では宮前ガイドブックに掲載されているコースをA4に拡大印刷し、駅で配布しているようだ。売れゆきがいいときもあるし、そうでないときもある。

佐藤 新しくマップをつくるにしても、これだけ既存のマップがあるので、ただ地図をつくるというだけではよろしくない。マップをつくるのであれば、イベントと連動するものでないといけないと思う。区民会議から提案するものとして、他の取り組みとの連動するものが必要と考えている。

藤田 宮前区ガイドブックにお散歩コースが紹介されているが、水と緑など適当なテーマが書いてあるが、なんとなくはっきりとしたテーマがない。目黒区のマップが売れているのは坂道をテーマにして、7つのコースを全て歩いたときに33の坂道全て回れるというテーマ性があるからだと思う。坂道をメインテーマにするということであれば、坂道を巡るものでなければ、新しいマップをつくる意味がない。それを坂道マラソンなどのイベントやマップを利用した普段の活動につなげなければいけない。

ところで、11月中旬に向ヶ丘・宮前ディスカバーウォークはどこが主催し、何をやっているのか(参考資料2参照)。

区 地域振興課が担当しており、青少年指導員会がやっている。どこか目的地を決めているところから出発して、歩きながらまちを発見しようというものである。

豊島 各地区の青少年指導員会があり、持ち回りで目的地を決めている。

第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録(案)

藤田 毎年コースが違うということか。

豊島 毎年担当者が違うので、コースが違う。

藤田 全区的にこのようなイベントがあるのは知らなかった。対象はだれになるのか。

豊島 町内会の回覧板で広報しているが、来る人はほとんど子ども会の関係者になる。子ども会の関係者が協力団体としてやっている。子ども会で子どもは誘えるが、お年寄りにはあまり来ない。回覧してもやっぱり来ない。

藤田 ウォーキングイベントはその他にも結構やっている。そのあたりをまとめた大きなイベントができるといい。今あるもののひとつになってしまうようなイベントではいけない。

区 もし仮にマップをつくり、注目されたら、マップにあるコースを使ってディスカバーウォークをやって、さらにオプション的にイベントを付加できれば、ディスカバーウォークに来る人も多くなるかもしれない。

藤田 ディスカバーウォークは全区民的ではない。

豊島 子どもが対象になっている。

直本 区民全てを対象にすることはありえないと思う。いろんなことをやって区民全体が関わっていくように考えないと、小学生も対象、高齢者も対象ということで、何かひとつのことをやるということではありえないと思う。坂道について、いろんな取り上げ方をすることで、区民全体がどこかに関わられるようにしたほうがよい。そうしないとばらばらになってしまう。

佐藤 藤田さんは全体を通すことでいろんな世代が触れ合えるというイメージだったと思うが、どうか。

藤田 細かい触れ合いはもっと下のレベルでやったほうがよいと思っている。年1回くらいの大きなイベントが象徴として必要だと思う。

佐藤 ディスカバーウォークははじめて何年目になるのか。

豊島 7年目くらいになる。昔、富士見台で運動会をしていたが、それがディスカバーウォークに変わった。

直本 地域の持ち回りなので、毎年同じ地区の同じ人が負担するのではなく、何年かに1回地域が負担する形になっている。

豊島 青少年指導員自体が町会・自治会の推薦になるので、そのような動きになっている。

山下 参加者対象別にプログラムを組むことは必要だろう。マラソンにはフルマラソンやハーフマラソン、10km、5kmもある。まずは基本的なものをつくってから、そういうものを細かく決めていく必要がある。

佐藤 魅力づくりという観点からみて、何かアイディアはあるか。

藤田 坂道写真クイズ・ラリーや坂道ゲームといった中からひとつでも組み入れられるといい。

佐藤 こういうところで商店街の活性化とタイアップできるといい。

藤田 宮前区はこれといった特徴がないから、坂道写真クイズは結構答えるのが難しい。むしろ写真と実際を見て確認しながらやらないとわからない。何の特徴がなくても写真を見ながら、歩いていると重なるところが分かるのは面白い。

佐藤 岡田さんが言っていたが、歩くことが目的でなくてもこういうところに来てもらえ

第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録(案)

ばいいのではないかと saying いた。

藤田 坂道やウォーキングはテーマを言っているだけで、現実には知って親しんでもらうためには、その人が車で行こうとなんで行こうとそれは結果論である。ただ車で行ってほしいということはいえないと思うので、坂道とウォーキングをセットで出すことになる。

区 もしバスで行ったとしても、その次いでに何かあれば、そこに寄ってもらうというイメージですね。

藤田 坂道クイズということであれば、目黒区のマップに写真が掲載されているが、この写真のこの景色はどこかということ質問にすればいい。

佐藤 こういうときに写真を区民から募集できるとよいと思う。

藤田 坂道の上と下の写真をとったら、坂道制覇という話があったが、それは景品がついた場合のことであって、そんなにこだわる必要はない。景品をつけるということであれば、農商工関係と連携できるとよい。登るのはつらいが、下るのは簡単。

豊島 写真が嫌いな人もいかもしれないから、写真に限らないほうがよい。いくつかある方法のうちの一つとしていいなという話だと思う。

田邊 マップについては、坂道と坂道周辺にある資源やイベントなどのいろんな情報が一緒になっているといい。目黒区のマップの場合、どこの坂道になにがあるか、見えるかということが分かる。坂道を登り下りすることでいろんなことを知ることができる。そういうものを委員が探してみてもどうか。人に教えてあげるために必要ではないか。

まちづくり協議会が防災など地道な活動をやっている。区民会議でやったからといって、すぐ効果が現れるのか。区民会議の知名度の問題もあるが、ひとつひとつ積み重ねていく必要があるのではないか。

佐藤 ただでさえ坂道をウォーキングするのはつらい。つらいだけでは継続するのは難しいので、通年的な取り組みを行い、つらいことだけでなく、楽しいこともあるということ示して、サイクルさせないといけない。

田邊 駅から市役所に来るとき、道路右側に公園があり、ベンチが置いてある。年配の人にとって、非常にいい場所である。今はバスが停まるようになったので、利用者が多くなった。そういう情報を提供する必要がある。

名称が付いている坂道以外にも土橋から上にあがっていくところ、たまプラーザに向かう桜並木のところなど坂道はある。いろんな情報を集めようと思ったらいろいろ集まる。それをPRすることも必要である。いろんなところに資源があれば、その資源の近くの人が徐々に巡ってくれるようになるのではないか。

山下 目黒区のマップは必ずコースの次にいろんな説明を掲載している。マップはこういうつくり方になるのではないか。

藤田 ほぼ目黒区のマップを参考につくればいいのではないか。

佐藤 目黒区はマップを発行した後、区役所でイベントをしたり、通年的な取り組みを行っているのか。

区 まだ発行したばかりで反響を見ているのではないか。

佐藤 盛りだくさんの内容でマップをつくるだけでなく、マップを使って通年的な取り組みやイベントにつなげていかないといけない。

第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録(案)

区 マップはつくってただ配布するだけでは厳しいので、仕掛けが必要で、雑誌買うとおまけでDVDが付いてくるように、例えば、浦野さんに頼んで、川崎フロンターレの中村憲剛選手に出してもらってCMをつくるなど、区民が興味を持つような仕掛けが必要かもしれない。川崎フロンターレの選手に坂道を駆け上がってもらったり、委員自らが坂道を駆け上がるなど、デモンストレーションDVDがつかれるといい。

そっくり目黒区のマップを参考にすることも、マップのガイド役を川崎フロンターレのマスコットキャラクター「ふろん太」にするだけで、情報発信力が上がる。

佐藤 駅伝の矢澤曜選手（早稲田大学）の起用も考えられる。川崎フロンターレの選手が坂道を走るとこんなものだけど、矢澤選手が走るとこれだけ早いという内容のものもつくれるかもしれない。

佐藤 川崎フロンターレと宮前区は提携を結んだのか。

区 フットサル以外に健康づくりや地域づくりについて、フロンタウンさぎぬまと連携協定を結んだ。具体的内容について決まっていない。フロンタウンさぎぬまに協力を求める場合、連携協定が生きてくるかもしれない。

田邊 フロンタウンまつりは関係あるのか。

区 これ自体は2010年から始まったフロンタウン独自の祭りである。区も後援し、いろんな形で協力している。直売所を出して、地産地消を促進することが考えられる。

佐藤 もしイベントをやるなら、地産地消とのタイアップも視野に入れたい。

4) 次回以降の進め方

佐藤 第2期では、このようなことをこのような主体にやってもらいたいという提案をただけだった。現在、冒険遊び場検討委員会という区民会議の小型版をつくってやっていて、区民会議だけでも大変になっている。区民会議に参加している方のことを考えても、あまり良い進め方ではなかった。負担が大きいとなり手がいないし、楽しいことではないと足も遠のく。意見はある程度出たと思うので、話を進めたいと思う。こういう風にやりたいということが決まれば、ものすごい速度で具体的な内容が決まっていく。

区 アイディアがある程度出てきたのであれば進めてほしい。基本的な方針を決めてもらい、みなさんが同じ方向を向いていれば、議論をしやすいと思う。

直本 みなさんの意見を聞いていると、継続的にイベント的にやれること（マラソンやウォーキングラリーなど）、マップを中心として何を盛り込んでいくかということの大きく2つのことが出ていると思う。両方検討するか、片方だけにするかというのは、今後検討し、両方やれそうならやるし、両方やれないのであればどちらかにする。

コンサル イベント的にやれることについては、1度大きなイベントをやるということ（マラソンなど）もあるし、継続的に行う日常的な取り組み（定期的なウォーキングラリーなど）もある。イベントの中でも2種類あると考えている。それも検討ポイントである。

直本 次回は、例えばイベントをやるとしたらどんなことが考え、その方針が固まったら次はマップについて議論するなどテーマに分けて議論したほうが、意見が出やすいかもしれない。ばらばらに意見を出していてもしょうがない。

区 スケジュールから言うと、マップを先に議論し、その後マップを使って何ができるか

第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録(案)

を考えたほうがよい。

佐藤 具体の話になると意見が出てくるので、具体的に決めていってもいいのではないかと。フォーラムでも意見をもらえるので、それも検討しながら、次回から仕切り直しということで具体的な案を出していくということよいか。

→マップの作成について具体的な案を出していくということで了承された。

5) 次回までの宿題について

区 次回部会でスムーズに話し合いを進めるため、次回までに前もって意見を出しておいたほうがよい。次回部会までに宿題をやってもらえる場合、全体会後に宿題ペーパー(一定の様式を作成)を配布し、2月下旬までに提出してもらおうと思うがよいか。

藤田 宿題ペーパーを来週早々に配ってもらえるとよい。全体会前くらいにメールで返信できるくらいでないとスケジュール的に厳しい。10日(木)の全体会のときに各委員から回収した意見をまとめたものを各委員に渡せばよい。

→次回までに各委員が前もってマップの作成について意見を出すこととなった。意見記入用の様式は事務局が作成し、配布する。

4 区民会議フォーラムについて(案)

※ 事務局より資料5を説明。

豊島 広報はどのように行うか。

区 市政だよりや回覧板で配布する。

佐藤 みやまえ映像コンクールのときにチラシを置かせてもらいたいと考えている。

5 今後の会議スケジュール

※ 第5回活力づくり部会は平成23年3月16日(水)18時から行う。

(以上)

コミュニティづくりに向けた合意事項 ～宮前区を、ただ「住む」だけでなく「暮らす」場所に～

当面の目標

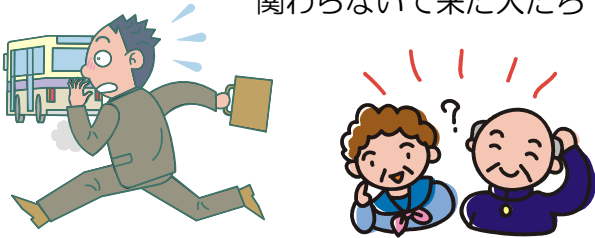

宮前区の基礎力アップ！地域社会の土壌づくりをしよう！

- ・区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、地元への愛着や帰属意識をつくる
- ・地域社会と接点を持ち、地域社会に参加する人たちを増やす

ターゲット

今は宮前区と離れた生活をしていても、地域に参加する素養がある層

- ・きっかけさえあれば、すぐにでも地域社会に参加する層
- ・自ら積極的に自ら参加するわけではないが、地域社会に対してアレルギーがない層

<p>宮前区に住んでいる or 長年住んできたが、 これまでは特に地域社会と 関わらないで来た人たち</p>  <p>例) 会社人間、シニア世代</p>	<p>地縁・血縁があるわけではなく、 田園都市線のイメージに惹かれ なんとなく宮前区を選んだ人たち</p>  <p>例) 子育て世代、田園都市線マダム？</p>
<p>核家族や共働きなどで、宮前区は単に 寝るだけになってしまっている人たち</p> <p>例) 川崎都民</p>	<p>宮前区に引っ越して来たばかりの人たち</p> <p>例) 転入者、子育て世代</p>

アプローチ

まずは「宮前区」に対してポジティブな気持ちを「もらおう」

- ・区民が「宮前区」のターゲットとなる
- ・「宮前区」や地域社会に対して「好きじゃない」のではなく、「好き」になる
- ・「宮前区」や地域社会に対し、「楽しそう」「面白そう」「好き」な感情を起こすことで「興味を持ってもらおう」

打ち出し方

「生活の楽しみ方」や「まちとの付き合い方」をプロデュース

「宮前区での生活の楽しみ方」、「このまちとの上手な付き合い方」などを打ち出し、まずは宮前区の「まち」に興味を持ってもらい、それを支えている「人」と交流することで、無理なく自然と地域社会に入って来てもらおう！

◆宮前区での生活の楽しみ方

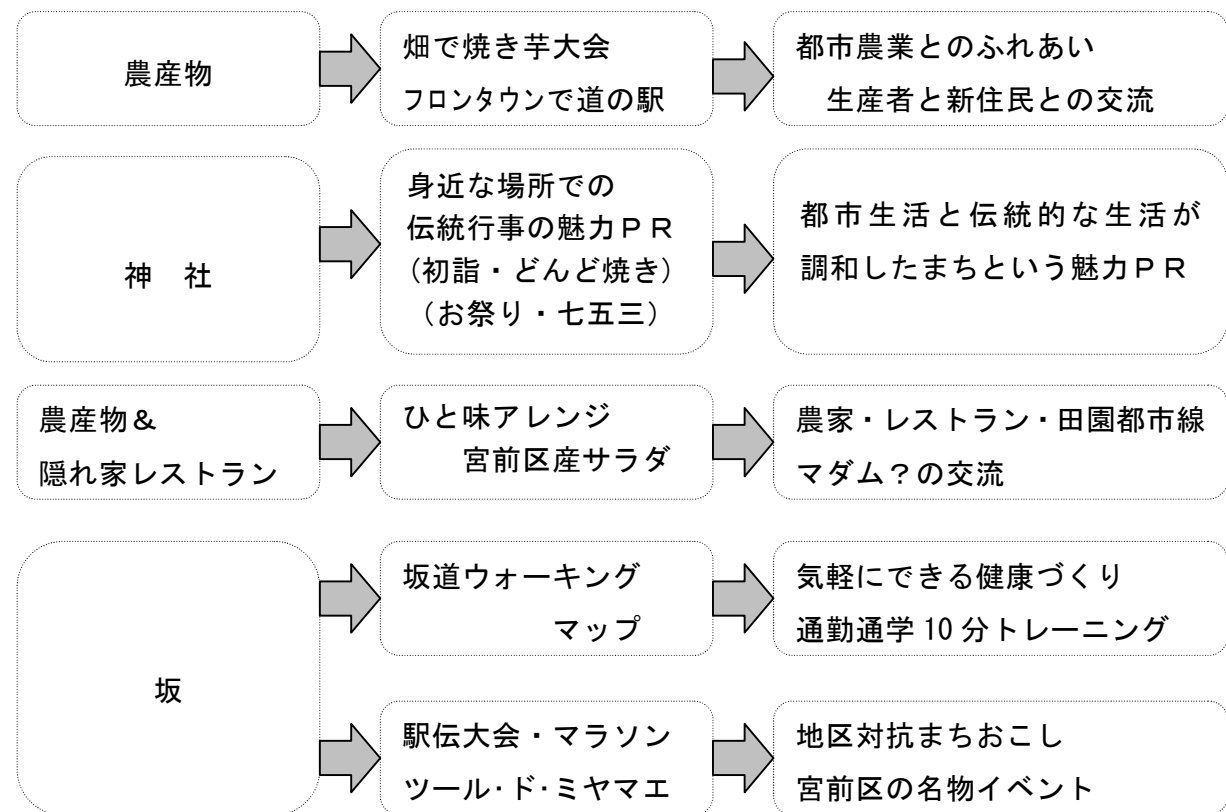
せっかく宮前区に住んでいるなら、宮前区や近所のコトをほとんど知らないまま毎日過ごすよりも、少しずつでも宮前区のことについて知ったり近所の人たちと交流したりすれば、もっと生活が充実するよ！

◆このまちとの上手な付き合い方

宮前区に家を建てたりして、これからこの場所で暮らしていくなら、「坂が多い」とか「高齢になったら大変だ」とか嘆くんじゃなくて、「高齢者になった時に困らないように、坂を健康づくりに活かす」など、このまちと上手に付き合っていく方法を身に付けよう！

今後の検討

これを題材に、こんな仕掛けづくりをしたら、こういうコミュニティづくりに繋がるんじゃないかという仕組みを各部会で考えていく。例えば…



目黒区「坂道ウォーキングのススメ」についてのアンケート

部会で度々話題に上る「坂道ウォーキングのススメ」。好意的な意見がとても多いですが、「これは良いよ」「こんな風に作ると確かに売れるよね」など、あくまで感覚的に捉えている状況だと思います。今後、部会の参考にするために一度冷静に評価してみましょう。

1. どんなところが良い？		◆他のマップと比較して優れていると思う点は？ ◆行政発行の刊行物でこんなに売れる秘訣は？
【例】歩き方のアドバイスがある		理由) 正しい姿勢で歩くことで健康増進に繋がるから
コンセプト	「坂道」という特徴を‘特長’に変えるんだという作者の意気込みが貫かれていて、コンセプトがずれることが無い。	<ul style="list-style-type: none"> • 作っているうちに「あれも、これも」と積み込み過ぎてコンセプトがぼやけることが多い中、明確なコンセプトを貫き通している。だからこそ多くの情報がスッと伝わるんだと思う。
	「坂道」という明確なテーマがあり、なぜ坂道が良いのか理由を書いていること。	<ul style="list-style-type: none"> • つらくても、それなりに理由があり効果があるとわかれば取り組もうと思うから
デザイン	シンプルな表紙（地味さが逆に良い） デザインが秀逸・装丁が良い 手頃な大きさと薄さ	<ul style="list-style-type: none"> • 多くのガイドブックは、表紙が‘いかにも’ガイドブックという感じで、若い人が手にするにはカッコ悪い？と感じそうだが、シンプルなので見ながらウォーキングしても恥ずかしくない？ • A4サイズだと持ち歩くには大きすぎる • 商売っ気がないように感じられる
	コースごとにテーマを変えている コースごとわかりやすいように色分けしている。	<ul style="list-style-type: none"> • 世代ごとに興味があるポイントが違うので、テーマを変えることで多くの世代に楽しめる内容になっている。 • 色分けしているため多くの説明を入れなくてもわかりやすくなっている。
ビジュアル面	コース地図と写真などおすすめポイントが分けて掲載されている（1つのコースで4ページ使用）	<ul style="list-style-type: none"> • ポイントだけを重視すると細かい地図がなくて迷うが、別ページにすることで迷うことなくウォーキングできる（るるぶとか観光ガイドもそうかな？）
	地図の下にも坂道の立体的データが掲載されている また坂の部分が矢印で掲載されていて親切。	<ul style="list-style-type: none"> • 平面地図では進行方向が登り坂なのか下り坂なのかかわからないが、別に表示することで初めて取り組む人にもわかりやすい。坂の部分を矢印で表示することにより、どこからどこまでが坂なのか把握できて良いと思う。
	四季の移ろいを写真で掲載している。（34P） ⇒取材に長期間（1年間以上）かけていることが伺える	<ul style="list-style-type: none"> • 実際に四季の写真を入れることで、四季を通して行ってみようと思えるため
コース設定	公園、トイレなど休憩ポイントをコースに入れている。	<ul style="list-style-type: none"> • 長い距離？の設定でも休憩場所があれば取り組もうと思える • ウォーキングの服装でコンビニのトイレも借りづらいし、休憩場所やトイレが確保されていればお財布なくても良いから軽装でも取り組めるかなあ…
	スタート・ゴールが鉄道駅であること	<ul style="list-style-type: none"> • 生活に身近で誰もが利用する拠点（駅）が起点・終点だとわかりやすく始めやすい。駅から33の坂全てをコンプリートできるので、全部踏破したくなる
データ	坂の全長と平均斜度が掲載されている。（37P）	<ul style="list-style-type: none"> • 短くて手頃なところから取り組み、次はもう少し斜度のきついところに…とチャレンジしたくなる。 • 事前に斜度がわかれば自分がチャレンジできるか考えて取り組める。
	コースの距離、時間、歩数が掲載されている。	<ul style="list-style-type: none"> • 歩数を掲載している冊子は少ないと思う。万歩計がなくても歩数がわかって良いし、時間や距離は目安になって「これくらいの時間なら」「この距離だったら」と取り組みやすい仕組みになっている
気配り	車注意！マークが掲載されている。	<ul style="list-style-type: none"> • 売り上げとは関係ないが、区外の人が購入しチャレンジしようと思ったとき、書いてあると親切だと思いました。

目黒区「坂道ウォーキングのススメ」についてのアンケート

準備体操のアドバイスがあること	・月並みだけど、やっぱり大事だよ
2. もっと盛り込みたい情報は？ 【例】トイレの位置	◆自分ならこういう情報が欲しいと思うものを列挙してください ◆これがなくて「惜しい！」と思う項目は？ 理由) 歩く距離や時間によっては立ち寄りたくなる
バス停	・途中で歩くのが辛くなったらバスで帰宅しても良いかと思えるし長い距離だと思ったとき途中まではバスで移動しようかと思えることで取り組みやすくなるから。
コンビニなど公共施設以外のトイレ	・宮前区は公共トイレが少ないから
坂の途中にある商店や古くからある店、特色のある商店など	・
カロリー表示	・区役所の健康づくり講座で教えてもらったが、この速度？で10分歩くと自分の体重と同じ分のカロリー消費がされますと教えてもらい。歩く時の目安になって良いと思う。
公園体操の情報	・載せすぎるとページ数が多くなってしまいが、準備体操としてどうですか？みたいに、ほんの少し載せて詳しくは公園体操マップをご覧くださいと誘導するイメージ。
ウォーキングにより筋力がついた？など成果比較できるものがあれば…。	・成果が実感できればモチベーションを保てるため
特別編として団地周りの距離などデータを載せられたら	・団地には高齢者が多く住んでいて、すでに高齢で坂道マップの活用は難しいと思うので、団地まわりでリハビリというかトレーニングできる環境があれば団地に住み続ける年数を少しでも伸ばせるかも。 ・家から出るきっかけを作り仲間づくりをしたくない人でも顔を見ることができ、安否確認につながるので高齢者の問題も要素に入れられるかも
子連れでもOKコースとか夫婦？カップルお勧めコース、わんちゃんお散歩コース、友達と一緒にどう？などのコースを作れたら	・ひとりだと続かないことも誰かと一緒に行えば続けられることもあるので。 ・夫婦でウォーキングしている光景をよく目にするので
声を出すことも肺や筋肉、声帯にも良いみたいな一言をどこかで載せてウォーキング中にあいさつ？	・ウォーキングしている同士があいさつするようなきっかけを作れたら
区長の話にあった「寿命」の話	・きちんと調べなきゃいけないけど、「寿命」という言葉はみんな惹かれるよね
ワンポイントアドバイス // お知らせ // クイズ	Q「街路樹にイチョウが多いのはなぜ？」 A「水分が多いから防火のときに役立つんだって」

目黒区「坂道ウォーキングのススメ」についてのアンケート

3. どうやって情報を集めよう？誰がやる？

【例】部会で実際に歩いて現地調査やヒアリングする

<p>現状では部会で実際に歩くが確実？ 部会でいくつかの班に分かれて区内の坂を巡る 委員が住所近くの坂を担当しては？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実際に自分で歩かないと勧められないため。目黒ウォーキングマップにも、坂を歩いたコメントやコツなどが掲載されておりシンプルな中にも手作り感が出ていたので
<p>今後連携が必要だと思う、健康運動普及員や区内のウォーキングクラブや体育指導員と相談しながら一緒に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出来上がった段階でお願いしますとパトタッチするより、企画の段階から一緒に考えていく方が通年の取組みの時に協力してもらえるかな？と思います。
<p>まずは既存資料の収集・整理をもとに図上でコース設定 見落としがないか町内会に照会を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初は図上で出来るのでは？

4. PRの方法は？

【例】フロンターレの選手をキャラクター起用する

◆数多くあるマップや冊子の中から手にとってもらうためにはどうしたらよいでしょう？
理由) 誰もが知っていて注目度が一段とアップする

<p>現在開催している健康講座、健康診断、赤ちゃん検診？などで配布する 区内スポーツクラブなどの利用者、公園体操参加者に配布 ペットショップ？や動物病院で配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康に興味がある人や犬の散歩のとき使用してもらい、クチコミで広げる。
<p>ぽーたろうなどに特設サイトを設置 歩いた人の感想などを書いてもらう。 (この距離何分で歩きました～ウォーキングはじめて体重減りました～などのランキング) ランキングによって特産物プレゼント。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公園サイトも実際には書き込みは増えてないし効果は不明だけど…プレゼントがあると少しは違うかなあ～と期待??
<p>イベントを行うならイベント開催時に配布。</p>	<ul style="list-style-type: none"> イベントと連動して行いたいため。 イベントが多くの人々の目に触れる機会
<p>携帯版の地図を作る？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冊子を持ち歩かなくて良いし更新・修正もしやすい?? どこかに購入しに行く手間も省け気軽にダウンロードできて良い。(行政ではあまりなくインパクトがあると話が出ていたし一石二鳥だと…)
<p>スポンサーをつける</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冊子を見せたり、バーコードリーダーをつけ割引ページを見せたりすると、宮前平湯けむり？〇〇商店？〇〇引きになりますなどの特権をつける
<p>ガイドに区内在中のスポーツ選手を ページ案内はふろん太が良いのでは</p>	<p>めぐろっちは不思議な存在</p>
<p>継続して取り組めるようにスタンプブックを付属させる</p>	

5. その他・自由記入欄

防犯の観点から、変質者等の情報が多いところで坂に関わる場所があれば、敢えてコースに入れるなどできたら良い。
参考にするため目黒区の事例を聞きたい。部会に招くでも訪問でも。
マップの反響とそれを活用したその後の取組みについて聞きたい。
頭文字で「みやまえく」となる5つの坂があったら面白いなあ。
1コースは歩きやすさ重視で4～6km程度にしたい
名前が付いている既存の18坂なら5コースくらいで
ビジュアル重視でなるべく活字は少なく！
無名の坂の発掘とネーミングも必要では

平成 22 年度 宮前区区民会議フォーラムについて

1 日時
平成 23 年 3 月 12 日(土) 13:30~16:00

2 場所
宮前区役所大会議室

3 目的
(1) より多くの区民に区民会議の意義、活動内容を知ってもらう。
(2) 参加した区民とともに、「宮前区らしさ・コミュニティづくり」について考える。
(3) 提言後、取組を進める段階になったときの担い手・協力者を増やす。
⇒区民とともに拡大区民会議を開こう！というイメージ

4 内容
(1) 区民会議からの検討状況報告 20分
(2) 事例紹介 40分
(3) グループワーク・部会のテーマに会場を分かれての意見交換会 40分
(4) グループワーク発表とフォーラム総括 20分

5 グループワークについて
・活力づくり部会、地参知笑部会の両部会それぞれのテーマ内容に沿って、参加者と共に検討を深めるグループワークを開催する。
・参加者はその場で参加したいと思った方のグループに参加する。

6 グループワーク進行案（全体 1 時間）
・部会テーマに関連した投げかけを行い、ディスカッション。（40分）
 活力づくり 坂を活用してやりたいこと
 坂道でどんなことしたら楽しいだろう？
 地参知笑 宮前区の産物でどんなことができる？
 宮前区の面白ガイドをつくるなら、どんなコンテンツがあるだろう？
・ディスカッションの振り返り、まとめ（20分）
 各グループ、ラベルで振り返りを行った上で、まとめの発表を行う。

7 事例紹介
・今後の議論の参考とするため、第3期テーマに関連した取組をゲストスピーカーに招き事例を紹介してもらう。
活力づくり ZAMA坂道マラソン 【座間市・座間青年会議所】

8 スケジュール

時間	内容	役割分担
12:30	集合・設営 リハーサル	全員
13:00	開場・受付	受付係
13:30	開会・あいさつ・流れの説明	山下委員長
13:35	区民会議からの検討状況報告 プロジェクター等で簡潔に 20分	報告：佐藤部会長 持田部会長
13:55~ 14:35	事例紹介と意見交換 プロジェクター等で 40分程度	
休憩①10分 名産品でティータイム？		セッティング・応接班
14:45~ 15:25	グループワーク 4テーブル	進行：部会長+副委員長 書記係
休憩②10分 名産品でティータイム？		セッティング・応接班
15:35	報告 20分 (各テーブル発表 3分・意見交換 2分)	発表者：
15:55	あいさつ・閉会	山下委員長
16:30?	撤収・解散	全員

9 役割分担：区民会議委員全員で運営しよう！

	活力づくり	地参知笑
会場設営・撤収	全員でやりましょう！	
受付係		
総合司会	恒川副委員長	
ティータイム対応班	浦野委員	河井委員
Aグループ	佐藤部会長	持田部会長
	手塚委員	
Bグループ	藤田委員	高橋委員（予定）
	直本委員	

平成 22 年度 宮前区区民会議フォーラムについて

●集合 (12:30)

- ・区役所大会議室に集合してください
- ・発表する委員については、简单なりハーサルを行います。
- ・机・椅子のセッティングは全員でやりましょう。

●受付 (13:00)

- ・__委員と__委員に受付をお願いします。
- ・資料を渡し、名前と地域を名簿に書いてもらってください。
- ・ポストイットとペンを渡して、名前と地域を書いて胸に貼ってもらってください。

●検討状況報告と事例紹介 (13:30~14:35)

(1)配置について

- ・正副委員長及び部会長が前に座ります。
- ・司会者は司会台そばの一般席に座ります。
- ・その他の委員は、一般参加者と同じ座席に座ります(できるだけ前の方に)。

(2)留意点

- ・その他の委員は、委員からの発言・発表に対して補足したり、会場からの質問等に回答するなどの対応をお願いいたします。
- ・事例発表者に対しては積極的に質問してください。

●グループワーク (14:35~15:25)

(1)配置について

- ・分科会では各部会2つずつ、合計4つのテーブル(長机を3つ並べた形)を設け1テーブル10人程度が座ります。
- ・発表者・書記はあらかじめ決めた各テーブルに座ります。
- ・他の委員は、適宜分かれて所属部会のテーブルに座ります。

(2) (3)進め方 (両部会共通・全て司会の指示により進めます。)

- ・最初にグループ内で自己紹介を行います。
- ・グループごとに手順の説明を行います。
- ・司会進行の質問に対し、グループで意見をポストイットに貼り意見交換します。
- ・グループ内で意見に不足がないか協議したりグループ分けしたりします。

【質問内容】

活力づくり部会	地参知笑部会
<ul style="list-style-type: none"> ・坂を活用してやってみたいこと ・坂道でどんなことできたら楽しいかな? 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮前区の産物でどんなことができる? ・「るるぶ宮前区？」をつくるなら、どんなコンテンツがあるだろう?
※他のテーマに決めてもOKです。	※他のテーマに決めてもOKです。

●グループワーク発表 (15:35~15:50)

(1)配置について

- ・グループワークのままの配置とします。ただし司会の場所を設けます。

(2)進め方

- ・活力づくり部会⇒地参知笑部会の順に進めます。
- ・質疑応答を行います。
- ・部会長が各分科会の発表の感想を述べます。
- ・両分科会の発表が終わったら、司会者が引き取って副委員長の立場として全体をまとめます。

座席配置図

